

## 指標 17.1.2

### 指標名、ターゲット及びゴール

**指標 17.1.2** 国内予算における、自国内の税収が資金源となっている割合

**ターゲット 17.1** 課税及び徴税能力の向上のため、開発途上国への国際的な支援なども通じて、国内資源の動員を強化する。

**ゴール 17** 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

### 定義及び根拠

#### ○ 定義

本指標は、国内予算における、自国内の税収が資金源となっている割合を示している。算出においては、中央政府における総支出（予算を実際に執行した額）を国内予算として用いている。

#### ○ 概念

総支出は、GFSM2014 で定義されているとおり、「支出」と「非金融資産の純取得」の合計である。本指標に関連する主要な概念及び用語の詳細は、GFSM2014 に記述されている。

#### ○ 根拠及び解釈

本指標は、中央政府の総支出がどれだけ税による歳入で賄われているかを示している。本指標は、国内予算の執行額と税収入管理の関係性について国家間で比較可能なデータとなるであろう。

### データソース及び収集方法

中央政府の総支出及び税収に関するデータは内閣府『国民経済計算』による。

### 算出方法及びその他の方法論的考察

#### ○ 算出方法

国内予算における、自国内の税収が資金源となっている割合 = 中央政府の税収 ÷ 中央政府の総支出 × 100

#### ○ コメントと限界

なし

## **データの詳細集計**

なし

## **参考**

SDG 指標メタデータリポジトリにおける「17.1.2 指数」（2017 年 11 月更新版）。

<https://unstats.un.org/sdgs/metadata/files/Metadata-17-01-02.pdf>

## **データ提供府省**

内閣府経済社会総合研究所

## **関連政策府省**

財務省

## **担当国際機関**

国際通貨基金（IMF）